

# 赤門だより

vol. 68

## 特集

### 発熱外来の開設 新型コロナウイルス5類移行後の感染対策



Akamon Healthcare Group

## 赤門整形外科内科 ご利用案内 (2022年12月時点)

●診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00 土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
●リハビリテーション	月～金 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
●外来受付時間	月～金 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00
●休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関



最新の外来予定表はこちらのQRコードからご確認ください。

## 医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

### 赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼1619  
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

### 介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田110-1  
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

### サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条2832  
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

### なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4  
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

### ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4  
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

### 赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼1637-1  
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

### 館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼1604  
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

### 館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里237-3  
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

### 館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼1604-4  
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

### 管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼1599-1 番地1、1階  
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

## はじめに



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年(1888年)産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからもこの使命を全うするためにも、絶えず邁進してまいります。

## 赤門の由来

江戸時代に南部藩(現在の盛岡)の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り(庇)を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。



## この一枚



特集ページに掲載している赤門整形外科内科の発熱外来用の駐車スペースを建物の屋上から撮影しました。発熱外来を受診される際はお電話でご予約のうえご来院ください。

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻68号  
発行・責任:「赤門だより」編集発行室  
千葉県館山市沼1599番地1、1階  
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301  
ホームページ: <http://www.keishokai.or.jp>  
発行日:2023年4月15日(年3回)  
編集・印刷・写真:管理部 総合企画

# 赤門整形外科内科

## 発熱外来の開設

赤門整形外科内科

院長 宮川 慶



2020年1月に日本で新型コロナウイルスの感染が報告されて以降、新型コロナウイルスは我々の生活に大きな影を落とし、日本中が様々な問題と闘ってきたこの3年間でした。当初は健康な若い人でも時には重度の肺炎を引き起こす恐れしいウイルスでした。その後ウイルスは変異を繰り返し、現在では重症化のリスクは低いウイルスに変異してきていますが、感染力は依然として強く、家庭内や職場内・学校内で感染が拡がるスピードは非常に早いため、発熱の原因を調べて対応の対応をすることは大切なことです。

一方、安房地域では検査ができる施設が限られていて、発熱した患者様が気軽に外来を受診できないという問題がありました。これまで何度も「赤門の外来でコロナウイルスの検査はできないのか？」というご要望をいただきながら、なかなか皆様のご期待に答えることができませんでした。町の診療所が発熱している患者様の診察をお断りするという状態に私自身忸怩（じくじ）たる想いでおりました。スタッフ達と感染防御策を学び、検査方法や動線等の

検証を重ねた末に、発熱患者様以外にも迷惑をおかけすることなく安全に発熱外来を行えると判断し、2023年2月より発熱外来を開設することになりました。検査に時間を要するため予約制とさせていただきまずお電話をいただき、受診いただく時間等をご案内いたします。発熱という誰しもが起こり得る症状がでたときに、いつでも患者様が安心して受診できる体制を作っていたいと思います。これからも地域に根差し、この地域の皆様に「赤門があつてよかった」と言っていただけのようにスタッフと共に精進してまいります。

御礼 個人的なお話ですが、今年の若潮マラソンも無事に完走しました（今回でちょうど10回目の完走でした！）。多くの方に名指しで声援をいただき、大変励みになりました。普段患者様に「筋力をつけなさい」「体重を落とさなさい」と言わせていただいております手前、私自身もがんばっております。



検査ができ



敷地内に設けた発熱外来用の駐車スペース 乗車したまま受診できます

# なのはな館みさき

## 新型コロナウイルス5類移行後の感染対策

介護老人保健施設なのはな館みさき

看護師長 小間 久美子

看護師 昆 牧子

2020年1月に国内での新型コロナウイルスが発生し日常生活が一変しました。厚生労働省から介護施設にも感染対策指針が提示され、なのはな館もそれに沿ってご利用者・ご家族に協力していただき、職員一丸となり感染対策を行ってきました。しかし、感染対策指針に沿って感染対策を行っていてもコロナウイルスの感染力は強く、第6派と8波の感染拡大期になのはな館内でクラスターが発生し、ご利用者に変なご迷惑をおかけすることになってしまいました。この時に厚生労働省アドバイザリーサポートや千葉県クラスター対策班のアドバイザーから指導を受け、現状に則した感染対策を学びました。その学びを活かし感染対策を考慮したケア方式（チームケア）を取り入れ、館内の改修工事も行っている最中です。

5月8日から新型コロナウイルス感染症は5類へ移行されます。しかし、その後もウイルスが無くなるわけではないので、高齢者の方が対象となる介護老人保健施設は「基本的な感染対策」を継続することを求められます。

新型コロナウイルスは季節性の感染症とは違い通年を通しての流行となるため、感染状況を把握し柔軟に対応を行って参ります。先述した基本的な感染対策を元に当館の感染対策につきご案内いたします。

のご協力をいただきます。施設にお戻りになってからは1週間の体調観察期間を設けさせていただきます。ご家族がお帰りになってから体調が変化した際は一報ご連絡ください。

面会時にもゆっくりお過ごしになれる専用の部屋を設けます



面会時にもゆっくりお過ごしになれる専用の部屋を設けます

### 基本的な感染対策の継続

#### 来館時の対応

- ・ 検温
- ・ 感染が疑われる症状の確認（発熱、咳、のどの痛みなど）
- ・ 手洗い、手指消毒、マスク着用
- ・ 氏名、来館日時、連絡先の記録

#### 面会時の対応

- ・ 面会室の十分な換気
- ・ 面会はできるだけ少人数で、大声での会話や飲食を控える
- ・ 面会后、一定期間内に発症または感染がわかった場合の相互連絡

#### ● サービス利用について

サービスご利用開始前の1週間に健康チェックシートを活用し、健康状態確認をお願いします。発熱、風邪症状がある場合には受診をお勧めしております。

#### ● 面会方法について

ご希望の時間で面会をお受けできるよう対応いたします。前日までにご相談下さい。天候が良い時にはテラスでの面会も提案させていただきます。

#### ● 終末期の面会について

ご家族へ来館時健康チェックシートでの健康状態の確認をさせていただきます。N95マスク着用にて個室での面会をご案内いたします。

#### ● 外出・外泊について

気候も暖かくなり過ごしやすいつ時期となりました。ご希望により対応させていただきます。外出・外泊前の1週間に、ご家族に健康チェック



ご利用者・ご家族には、今後も引き続き感染対策実施へのご理解、ご協力をお願いするとともに感染対策を実施する中でも行事などを積極的にに行い、楽しく充実した療養生活が行えるよう努めてまいります。